

取締役会評価の結果【2024年度】

当社取締役会は、取締役会全体としての実効性に関する分析・評価のため、取締役全員を対象に取締役会の役割や課題について自己評価も含めアンケートを実施し、取締役会で実効性についての議論、評価を行ないました。評価の実施時期及び結果概要は以下の通りです

(1) 取締役会実効性評価の実施時期

2024年4月16日~22日：取締役会の役割や課題、自己評価のアンケートを実施

2024年4月30日：取締役会の実効性の評価の議論

(2) 取締役会の実効性評価の結果概要

当社の取締役会は、各専門性の観点から一定の多様性が確保された構成のもと、重要事項の審議においては十分に議論が行われ、意思決定における透明性は確保されていることを確認しました。以上より、取締役会として適切に運用され、実効性が確保されていると評価しました。また、社外取締役への資料提出の充実等により、意思疎通の向上に引き続き努めてまいります

なお、当社の持続的成長と中長期的な企業価値向上のために、経営戦略や経営課題の審議につきましては、更なる議論の充実に努めます。次世代の取締役候補を指名し“ジュニアボード”と称し、毎月研修会を開催してきたが、一定の役割を終え、今後は階層別研修の策定を行うなど育成を進め、社内外からの候補者を選抜していく。

また各取締役においては、必要な外部研修を奨励しており、費用も会社で負担する仕組みを整えているが、制度としての確立を検討していく。

取締役会メンバーの構成についても、スキルマトリックスやダイバーシティの観点から、多様性を意識した構成を目指していく。そのために、計画的な育成を図っていくとともに、社外からの抜擢なども進めていく。